

令和6年8月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和6年8月29日（木）

午前9時30分より

場 所 町民センター 3Bクラブ室

1 開会宣言

2 署名委員の指名

3 教育長事務報告

4 付議事項

（1）議案第13号 令和6年度一般会計補正予算（第2号補正）について（非公開）

5 報告・協議事項

（1）令和6年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書（令和5年度事業分）について

（2）教育相談および教育支援室の状況について

（3）コミュニティ・スクールの運営状況について

（4）その他

＊ 次回教育委員会議予定

6 閉会宣言

令和6年8月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R6.7.26～R6.8.28)

月	日	曜日	内 容
7	26	金	定例教育委員会議
7	30	火	教育講演会（第1部 ICT×インクルーシブ教育、第2部 教育実践発表会）
7	31	水	町文化祭実行委員会
			にのみや学園制服のあり方検討会
8	1	木	教職員初任者研修会
8	6	火	政策会議
			第33回ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい
8	8	木	学校魅力化フォーラム（オンライン）
8	9	金	道徳教育研究会
8	16	金	辞令交付式（生涯学習課）
8	20	火	政策会議
			令和7年度予算編成に伴う施策・事業のヒアリング
			図書館現地確認
8	21	水	中郡公立中学校教育研究会「講演会」
8	23	金	校長会
			議会全員協議会（町民温水プール跡地について）
8	24	土	移動町長室
8	27	火	第2回中地区教育長会議

8月政策会議結果報告

令和6年8月6日（火）開催分

【町長あいさつ】

移動町長室の開催は、残り一箇所となり、結果がまとまり次第情報の共有を図ることとします。重点施策のヒアリングについて、必要に応じて事前調整を行ってください。

【主な付議案件】

- 1 災害時におけるキッチンカーによる炊き出しの実施等に関する協定書（案）について（総務部）

・災害時における避難者への食糧提供体制を強化するため、中郡キッチンカー協会と連携協定を締結するものです。協定の締結日は、令和6年8月26日。

【情報交換】

○ 特になし。

令和6年8月20日（火）開催分

【町長あいさつ】

国が「こどもまんなか」の社会を実現させるために、子ども家庭庁を設置したところですが、町においても「こどもまんなか」に資する事業について取り組んでいくことを次年度予算に明確に位置付けて進めていきたいと考えているので、調整をお願いします。

【主な付議案件】

- 1 清水運輸株式会社との観光振興に関する協力協定について（都市部）

・平塚に支店がある同運輸会社から、トラックに二宮町の地域資源を活用し相互の知名度を高めることにより地域の活性化を図ることを目的とした協力協定についての提案がありました。

・埼玉県、茨城県の自治体での実績があり、二宮町でも進めていくこととなりました。協定の締結は、11月の予定。

【情報交換】

○ 特になし。

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告

(令和6年7月26日～令和6年8月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
7月30日	火	小中カリキュラムワーキンググループミーティング	各学校またはオンライン	-
7月30日	火	二宮町教育講演会	ラディアン	-
7月31日	水	制服のあり方検討会	町民センター	22
8月1日	木	初任者研修会	心泉学園等	3
8月1日	木	普通救命講習会	保健センター	10
8月5日	月	初任者研修会	教育支援室	3
8月5日	月	幼稚園保育園小学校研修会	町民センター	60
8月5日	月	普通救命講習会	保健センター	10
8月6日	火	ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい	ラディアン	-
8月8日	木	普通救命講習会	保健センター	10
8月16日	金	初任者研修会	教育支援室	3
8月16日	金	道徳教育研修会	町民センター	15
8月23日	金	小・中学校長会 にのみや学園連絡会	町民センター	14

事業予定

(令和6年8月29日～令和6年9月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
9月2日	月	小中学校始業式	-	-
9月2日	月	養護部会	二宮小学校	
9月3日	火	食育担当者会	オンライン	
9月4日	水	情報教育担当者会	オンライン	
9月5日	木	にのみや学園小学校交流会	ラディアン	
9月6日	金	児担・生担・教育相談コーディネーター担当者	オンライン	
9月13日	金	中学校英語教育研修会	二宮西中学校	
9月13日	金	カリキュラム研究授業（理科・生活）	二宮西中学校	
9月25日	水	にのみや学園小中交流会	二宮中、二宮西中	

学校給食センター

事業報告

(令和6年7月26日～令和6年8月28日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
8月28日	水	社会体験学習受入(二宮西中学校)	給食センター	2

事業予定

(令和6年8月29日～令和6年9月27日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
8月29日	木	社会体験学習受入(二宮西中学校)	給食センター	2
8月30日	金	社会体験学習受入(二宮西中学校)	給食センター	2
9月3日	火	小・中学校 2学期給食開始	-	-
9月25日	水	納入物資業務監査	給食センター	5

生涯学習課事業報告

(令和6年7月26日～8月28日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
7/28	日	町民大学講座『みんなでボッチャを楽しもう』全2回 8/9	ミーティングルーム2	25人	18人	学習
7/28	日	図書館おしごと体験 (午前の部/午後の部 内容は同じ)	図書館	8人 (各4人)	8人	図書館
7/30	火	町民大学講座『描くことは生きのびること 二見利節』	ミーティングルーム2	20人	22人	学習
7/31	水	放課後子ども教室(二宮小③、全学年)	ラディアン	-	91人	学習
8/1	木	放課後子ども教室(二宮小④、全学年)	ラディアン	-	80人	学習
8/3～8/5		広域連携中学生交流洋上体験研修	新島	11人	11人	学習
8/3	土	町民大学講座『小梅とウクレレを奏でよう 2024』	ミーティングルーム2	30人	30人	学習
8/10	土			30人	19人	学習
8/4	日	図書館事業『親子で学ぶおこづかい教室』 (協力:神奈川県金融広報委員会)	ミーティングルーム2	15組	14組	図書館
8/7	水	放課後子ども教室(二宮小⑤、全学年)	二宮小学校	-	91人	学習
8/7	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	-	7組 (17人)	図書館
8/8～12		リサイクルコーナー	展示ギャラリー	-	約3,000冊 提供	図書館
8/9	金	スポーツ推進委員連絡協議会	ミーティングルーム1	20人	16人	スポーツ
8/16	金	わらべうたであそぼう!	和室	-	6組	図書館
8/17	土	ふたみ記念館ボランティア企画『ぼくもわたしもピカソになりたい!』	ふたみ記念館	20人	18人	学習
8/17	土	こわ～いおはなし会(8月分おはなし会)	図書館	-	16組 (52人)	図書館
8/20	火	放課後子ども教室(二宮小⑥、全学年)	ラディアン	-	81人	学習
8/20	火	放課後子ども教室(一色小④)	一色防災コミセン	-	21人	学習
8/22	木	町民大学講座『磁石の仕組み・超電導・素粒子の質量の起源』全2回 8/29	ミーティングルーム2	30人	11人	学習
8/25	日	愛のパトロール	町内	19人	6人	学習
8/25	日	町民大学講座『子どものための合唱講座』全2回 9/1	マルチルーム1	20人	7人	学習
8/27	火	放課後子ども教室(3校合同実施)	ラディアン	-	129人	学習
8/28	水	社会体験受入 (二宮西中学校 2人)	図書館	2人	2人	図書館

生涯学習課事業予定

(令和6年8月29日～9月26日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
8/29	木	町民大学講座『磁石の仕組み・超電導・素粒子の質量の起源』全2回 8/22	ミーティングルーム2	14:00	学習
8/30	金	社会体験学習受入 (二宮西中学校 4人)	図書館	-	図書館
9/1	日	町民大学講座『子どものための合唱講座』全2回 8/25	マルチルーム1	14:00	学習
9/4	水	文化祭実行委委員会	ミーティングルーム2	14:00	学習
9/11	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
9/20	金	わらべうたであそあぼう！	図書館	10:00	図書館
9/21	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
9/21	土	町民大学講座『家紋の歴史と知識あれこれ』	ミーティングルーム2	14:00	学習
9/24	火	特別館内整理休館 (9/27(金)まで)	図書館	-	図書館

令和6年度（令和5年度施策・事業対象）

二宮町教育委員会点検及び評価報告書

令和6年（2024年）●月

二宮町教育委員会

目次

はじめに.....	1
第1章 総論.....	2
第2章 教育委員会における主要事業 点検評価.....	5
各施策及び担当課一覧	
<u>大綱・基本方針 1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます</u>	
①—（１）自ら学ぶ力を養うための教育の推進	教育指導課
②—（１）小中一貫教育の推進	教育指導課
②—（２）コミュニティ・スクール運営の促進	教育指導課
③—（１）情報発信の強化	教育総務課
<u>大綱・基本方針 2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます</u>	
①—（１）支援が必要な児童生徒への対応の充実	教育指導課
①—（２）教職員の働き方改革の推進	教育総務課
①—（３）教職員の指導力の向上	教育指導課
①—（４）安心して学べる学校施設の整備	教育総務課
②—（１）健康・安全教育の充実	教育総務課
	教育指導課
<u>大綱・基本方針 3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます</u>	
①—（１）社会教育事業の推進	生涯学習課
①—（２）図書館事業の推進	生涯学習課
①—（３）二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	生涯学習課
②—（１）各施設の適切な維持管理と運営	生涯学習課
③—（１）情報発信の強化	生涯学習課
第3章 外部評価意見.....	●

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成したものです。

1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

2 点検及び評価の対象施策・事業

町の教育の総合的な指針である「二宮町教育大綱」に基づき、該当年度に取り組むべき施策及び主な事業を各年度の「二宮町教育委員会基本方針」に位置づけ取り組みを進めています。また、基本方針では、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI（重要業績評価指標）を設定し、KGI と KPI の相関関係を意識しながら施策を推進しています。なお、指標の設定については、可能な限り成果指標（アウトカム）を前提とし、全国学力・学習状況調査や学校評価など、毎年度数値が図れるものを取り入れています。また、一部の関連施策については、横断的な連携やその効果を意識できるように、同じ指標を設定しているものもあります。

令和 5 年度施策・事業の点検・評価においては、令和 5 年度二宮町教育委員会基本方針に位置づけた施策及び事業を対象にし、KGI 及び KPI の進捗などを踏まえ評価を行っています。

3 点検及び評価の方法

(1) 教育委員会による点検及び評価

対象となる施策・事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。

(2) 外部による点検及び評価についての意見

外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

第1章 総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は 2.3pt の上昇、中学校は 2.2pt の減少となっています。中学校の数値は上昇していませんが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和5年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

施策

評価対象 14 施策のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は2事業、「B評価（おおむね適正に取り組めている）」は 11 事業、C評価（改善する必要がある）」は1事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は0事業という結果となりました。

まとめ

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和5年度の教育大綱及び教育委員会基本方針の見直しでは、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI を設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的に分析できるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションにつなげられていない課題が浮き彫りになりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものにするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外に分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくために、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

今後も、子ども達にこれからの時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」が実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を進めてまいります。

OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持っている児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 80.5%	小学校 82.3%	2.3pt ↑	小学校 85.0%
	中学校 69.6%	中学校 67.4%	2.2pt ↓	中学校 75.0%
	（令和4年度実績値）	（令和5年度実績値）		

○二宮町教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和5年3月31日現在）

職 名	委員名	任 期
教育長	もり ひでお 森 英夫	平成30年12月26日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日（再任）
教育長 職務代理者	おかの としひこ 岡野 敏彦	平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日（再任）
委 員	ふじわら なおひこ 藤原 直彦	令和3年12月23日～令和7年12月22日
委 員	すぎもと かおり 杉本 かおり	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委 員	ふるしょう えいじ 古正 栄司	令和5年10月1日～令和9年9月30日

○令和5年度の教育委員会の活動状況

令和5年度については、定例会・臨時会の教育委員会議での審議に当たり、各教育委員が幅広い立場から意見交換を行い、議論を深めました。また、学校訪問や教職員との意見交換等を行い、学校現場の把握と理解に努めました。

事業名等	内容	備考
定例会・臨時会	開催回数12回（定例会12回、臨時会0回） 議案件数71件（付議事項37件、報告・協議事項34件） 傍聴23名	
学校訪問	二宮小学校（令和5年9月29日） 一色小学校（令和5年10月26日） 山西小学校（令和5年11月6日） 二宮中学校（令和5年11月22日） 二宮西中学校（令和5年6月30日）	
教育委員会関係行事	・教職員等辞令交付式（令和5年4月3日） ・教職員等転退職者辞令交付式（令和6年3月29日） ・各種研修	
総合教育会議	開催回数3回 第1回 令和5年5月22日（書面開催） ・総合教育会議のテーマ設定について	

	第2回 令和5年8月24日 ・小中一貫教育について ・不登校対策について ・ICT教育の推進について 第3回 令和6年1月26日 ・部活動の地域移行について ・今後の生涯学習センターのあり方について	
--	--	--

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価

各施策シートを挿入

第3章 外部評価意見

外部委員意見（2 名分）を挿入

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進					評価者	教育指導課		
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。 さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	言語活動の充実【重点事業】		－	②想定レベル		学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。		
	2	情報活用能力の育成【重点事業】		－	②想定レベル		ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。		
	3	英語教育推進事業【重点事業】		－	②想定レベル		英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。		
	4	道徳教育・特別活動の充実		－	②想定レベル		9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。		
	5	読書機会の充実		－	②想定レベル		中学校では、朝読書を推進することができた。		
	6	学校体育の充実		－	②想定レベル		小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	65.6%	65.6%				70.0%	B
		中学校	83.5%	83.5%				90.0%	
	実績	小学校		72.2%					
		中学校		78.0%					
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	週３回以上、授業でICT機器を使用する割合							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%				70.0%	A
		中学校	85.1%	85.1%				95.0%	
	実績	小学校		78.4%					
		中学校		95.0%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%				95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%				98.0%	
	実績	小学校		97.2%					
		中学校		95.5%					
指標の見直し	－								

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名		中学 3 年生の英検 3 級取得率						
			基準値	R5	R6	R7	R 8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	中学校	42.6%	42.6%				50.0%	C
	実績	中学校		17.7%					
	指標の見直し		中学 3 年生のCEFR A1レベル（英語検定 3 級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合【英語教育実施状況調査】に指標を変更する。						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・5校が一体となって取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではない。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・教科特性を踏まえた言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点 及び今後の 方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後の整備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進				評価者	教育指導課			
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による９年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明				
	1	小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】	－	②想定レベル	小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。				
	2	かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「９年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	－	②想定レベル	５校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。				
	3	施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】	－	②想定レベル	研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。				
	4	郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】	－	②想定レベル	総合的な学習の時間を中心に郷土学習を進めることができた。				
	5	小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	－	②想定レベル	各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	77.4%	77.4%				80.0%	B
		中学校	84.0%	84.0%				85.0%	
	実績	小学校		81.9%					
		中学校		74.2%					
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
		中学校		60.7%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
		中学校		49.4%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	小学校	49.2%	49.2%				55.0%	A
		中学校	46.4%	46.4%				50.0%	
	実績	小学校		74.5%					
		中学校		62.4%					
指標の見直し	－								

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	小中一貫教育の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	37.6%	37.6%				50.0%	B
	中間		42.0%					
	指標の見直し	—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・にのみや学園が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。 ・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。
	今後の課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。 ・にのみや学園の取り組みが地域に十分伝わっていない。 ・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。
	改善点 及び今後の 方向性	・保護者や町民も参加する教育講演会で、にのみや学園の取り組みを報告する。 ・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。また、学校へ行く週間も積極的に周知する。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方と次のアクションを具現化する。 ・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進					評価者	教育指導課		
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】		－	②想定レベル		情報交換や課題の共有を行うことで、各学校の運営協議会同士で連携を図ることができた。		
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進		－	②想定レベル		地域の人材が学校の教育活動に参加することで教育活動の充実や地域の活性化につながった。		
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進		－	③限定的		学校運営協議会の活動を通し、コミュニティ・スクールの周知を行っているが、認知について高くないため引き続き周知を行っていく必要がある。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%				40.0%	A
		中学校	21.1%	21.1%				30.0%	
	実績	小学校		－					
		中学校		－					
	指標の見直し		令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「地域の行事に積極的に参加している児童生徒（肯定的な回答の割合）【学校評価アンケート】」に指標を変更する。						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		21.4%	21.4%				30.0%	A
	実績			22.9%					
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。</u> <u>・夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことができた。</u> <u>・令和5年度より各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。</u>	
	今後の課題	<u>・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めて行く必要がある。</u>	
	改善点 及び今後の 方向性	<u>にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。</u>	
	総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	1－③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化				評価者	教育総務課		
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明	
	1	学校ホームページや町ホームページ、 広報紙等の積極的な活用		－	②想定レベル		様々な媒体を活用し、情報発信ができた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校ホームページアクセス回数（ 5 校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R 8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	23,000回	23,000回				25,500回	B
	実績		10,000回					
	指標の見直し	コロナの影響を受けている年度の基準値と実績との乖離を踏まえ、コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値・目標値見直し】						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（ 5 校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R 8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	88.7%	88.7%	88.7%			95.0%	B
	実績		88.5%					
	指標の見直し	－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	令和２年４月より学校ホームページを開設し、令和３年度は平均23,000回のアクセス数があった。令和４年度は約11,000回、令和５年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。	
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるような工夫をしていながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。	
	改善点 及び今後の 方向性	コロナの影響を大きく受けアクセス回数が多かった令和２年度・３年度ではなく、比較的落ち着き始めた令和４年度のアクセス回数を基準値とし、継続して取り組んでいく。	
	総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実				評価者		教育指導課		
施策内容	誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	教育相談体制（就学相談含む） の充実【重点事業】		－	②想定レベル		SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。		
	2	インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】		－	②想定レベル		支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学ぶ仕組みを整えた。		
	3	幼保小連携推進事業		－	②想定レベル		スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。		
	4	支援教育補助員の配置		－	②想定レベル		支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。		
	5	医療的ケア受入実施体制の確立		－	①想定以上		医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。		
	6	中学校の制服の在り方の検討【重点事業】		－	②想定レベル		アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		誰にも相談していない児童生徒数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	0人	0人				0人	B
		中学校	7人	7人				0人	
	実績	小学校		4人					
		中学校		1人					
指標の見直し		－							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	60.0%	60.0%				70.0%	B
		中学校	65.5%	65.5%				70.0%	
	実績	小学校		64.2%					
		中学校		61.8%					
指標の見直し		全国学力学習状況テストから町独自調査（小５～中３）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】							
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名		新規不登校者数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	5人	5人				5人	B
		中学校	15人	15人				15人	
	実績	小学校		4人					
		中学校		4人					
指標の見直し		－							

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名		不登校率						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小 低	0.9%	0.9%				0.9%	C
		小 高	2.1%	2.1%				2.1%	
		中学校	6.2%	6.2%				6.2%	
	実績	小 低		2.0%					
		小 高		3.4%					
		中学校		8.8%					
	指標の見直し		—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・SCを増員するなど教育相談体制を強化することができた。 ・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。 ・まなびの教室、校内教育支援センターの新設など「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。 ・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。（５年生の参画）
	今後の課題	・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた重層的支援を行う必要がある。 ・配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。 ・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。 ・アンケートの実施回数が増えている。 ・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。
	改善点 及び今後の 方向性	・校内教育支援センターを先行して設置した学校の不登校児童数の増加に歯止めがかかったことから、校内教育支援センターを全校に設置する。 ・心理検査を行うカウンセラーを確保する。 ・アンケートの負担軽減を図りながら実施する。 ・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。 ・カリキュラム研究等を通じた魅力ある授業づくりをすすめる。 ・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(2)教職員の働き方改革の推進				評価者		教育総務課		
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	働く場としての環境整備【重点事業】		－	②想定レベル		校務支援システムなどのICT環境、SCなどのサポート人材の充実など、職場環境の改善の一助となっている。		
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】		－	③限定的		将来に向けて、部活動における条件の整理を開始できた。		
	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】		－	②想定レベル		地域の方の協力を得て、地域教育力を活用した授業が行えている。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		教職員の時間外勤務の月の平均時間						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	36.3時間	36.3時間				30.0時間	B
		中学校	58.4時間	58.4時間				30.0時間	
	実績	小学校		33.2時間					
		中学校		60.5時間					
	指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		教職員に占める高ストレス者の割合						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		13.2%	13.2%				10.0%	B
	実績			10.3%					
	指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<u>・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを適正に配置し、早期対応を行うことができる環境整備を図った。（R5 SCを小学校に週1日常駐）</u> <u>・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を配置した。（R5 3名増員）</u> <u>・校務支援システム、勤怠管理システム等のICTを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。</u> <u>・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。</u> <u>・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。（R5 各中学校で計3部活で検証）</u>
	今後の課題	<u>・不必要な業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等）</u> <u>・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、優先順位を見直す。</u>

	改善点 及び今後の 方向性	・働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つ取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを5校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。 ・学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。そのために、学校だよりやHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上					評価者	教育指導課		
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名			＜参考＞ 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明			
	1	「教職員授業力向上研究事業」の 推進【重点事業】		－	②想定レベル	各校の状況に合った課題を設定し、授業や研修等を通じて力量形成を図ることができた。			
	2	教育研究所における研修の充実		－	②想定レベル	子どもたちの居場所づくり等教育課題に合った研修内容を組むことができた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	80.5%	80.5%				85.0%	B
		中学校	87.1%	87.1%				90.0%	
	実績	小学校		87.0%					
		中学校		75.3%					
指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	53.8%	53.8%				60.0%	A
		中学校	60.3%	60.3%				70.0%	
	実績	小学校		62.5%					
		中学校		60.7%					
指標の見直し	・「英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）【全国学力・学習状況調査】」を指標に変更する。								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	62.1%	62.1%				70.0%	C
		中学校	58.3%	58.3%				65.0%	
	実績	小学校		59.6%					
		中学校		49.4%					
指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	86.7%	86.7%				90.0%	A
		中学校	92.7%	92.7%				95.0%	
	実績	小学校		91.5%					
		中学校		91.0%					
指標の見直し	－								

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができた。 ・児童生徒の発達を支持する教員の肯定的なかかわり方が組織的に行えていることが数値にも現れている。また、小学校では、高学年を中心に教科担任制を推進し、教科指導の充実を図るとともに、児童の多面的理解に努めている。「授業がわかりやすい」「先生に話しかけやすい」「いろんな先生がかかわってくれる」ことに肯定的に回答する児童の割合が高まった。	
	今後の課題	・働き方改革と教職員研修の両立を図ること。 ・多岐に渡る教育課題から必要な課題を厳選すること。	
	改善点及び今後の方向性	・町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。 ・教育講演会については、引き続き、町民や保護者にも周知し、町全体で教育課題について理解しを深める機会とする。 ・担当者会の位置づけを明確にし、内容の充実を図ることで、担当者の資質・能力が学校運営や町に政策に反映できるように努める。同時に、教職員の資質・能力の向上や学校運営に積極的に参画する態度の育成につなげていく。 ・学び方の研究や教科研究を通じて、個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現を図る。	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和５年度実績）

基本方向性	2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備					評価者	教育総務課		
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。								
主な関連事業	予算等事業名				<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 （3段階評価）		説明	
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】			－	②想定レベル		Dランク判定の個所を計画的に改修ができた。	
重要業績評価指標 （KPI）①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和２年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況	
	計画	40.0%	40.0%	70.0%			100.0%	A	
	実績		66.7%						
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>Dランク判定 2 1 か所のうち 1 4 か所について、工事又は修繕が完了した。</u> また、教育環境の向上を図るため、令和 5 年度より、特別教室等空調機設置工事に着手し、令和 6 年度の夏季期間から空調機が稼働できるように工事を進めている。	
	今後の課題	<u>令和 6 年度以降についても、引き続きDランク判定の個所を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。</u>	
	改善点 及び今後の 方向性	特別教室等空調機設置工事は、国の交付金を活用できたため、町の財政負担軽減に繋がっている。 <u>引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕をしていく。</u>	
	総合評価		A

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	2－② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実				評価者	教育総務課・教育指導課		
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明	
	1	安全対策、安全教育		－	②想定レベル		通学の合同点検の実施し、関係機関等による通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を行った。	
	2	幼保小中一斉引取り訓練		－	②想定レベル		関係機関の協力の下、今年度も予定通り実施することができた。	
	3	学校給食センターにおける取り組み 【重点事業】		－	②想定レベル		学期に1回の地場産デーに合わせて栄養士による食育を実施することができた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	33箇所	33箇所				58箇所	A
	実績		31箇所					
指標の見直し		－						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	94.3%	94.3%			96.0%	A
		中学校	91.2%	91.2%			93.0%	
	実績	小学校		93.7%				
		中学校		92.7%				
指標の見直し		－						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・学校給食において、地場産デーとして6月には二宮産のたまねぎを提供し、7月には無農薬野菜のなす、ズッキーニ、ピーマンを使用した「夏野菜カレー」を提供した。また、10月には二宮町で取れたサバを「サバの竜田揚げ」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」をそれぞれ提供した。また、そこに至る過程で、提供者との綿密な交渉（相談）を重ねることにより、市場と同等の大きさ・品質・価格の地場素材の供給体制を構築することができた。 ・地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が7月には二宮小学校、10月には山西小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	今後の課題	・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有 ・給食費の段階的な無償化の検討
	改善点及び今後の方向性	・引き続き、通学路の安全点検を行い危険箇所等の把握に努め対策等を行っていく。 ・令和6年度より中学校の給食費無償化を開始する。
	総合評価	

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進					評価者		生涯学習課	
施策内容	家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。 また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。 これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題についても研修会等を開催し、人権意識を育みます。								
主な関連事業	予算等事業名				<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明	
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】			－	②想定レベル		地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。	
	2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援			－	②想定レベル		町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。	
	3	青少年の健全育成【重点事業】			－	②想定レベル		青少年指導員等と連携し、各種事業を実施した。	
	4	人権教育の推進			－	②想定レベル		インターネット空間における人権について考える研修会を実施した。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒（肯定的な回答の割合）							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	小学校	30.7%	30.7%				40.0%	評価不可
		中学校	21.1%	21.1%				30.0%	
	実績	小学校		－					
		中学校		－					
	指標の見直し	令和5年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「放課後子ども教室の登録率（登録数/児童数合計）及び参加した児童の延べ人数」に指標を変更する。							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度							
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画		21.4%	21.4%				30.0%	B
	実績			22.9%					
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めており、放課後子ども教室についてはR4と比較し、参加率が36.4%から41.9%へ上昇している。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員合同による事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みを実施し、各団体の強みを生かした連携が図られた。</u> <u>・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、多世代の交流の場となるような講座を開催したことで、R5は参加者同士での継続学習につながった講座もあり、生涯学習の推進が図られている。</u>	
	今後の課題	<u>地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携、情報提供を継続して行う必要がある。</u>	
	改善点 及び今後の 方向性	<u>・関係者や関係団体との協力や連携、情報提供を継続して行うとともに、社会情勢や町民ニーズを踏まえた取り組みを進める。</u> <u>・施策の進捗をより詳しく計測するため、重要業績評価指標（KPI）に、①にのみや町民大学の申込状況（申込者数/定員数）を加える。</u>	
	総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(2)図書館事業の推進				評価者	生涯学習課			
施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明			
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】	－	②想定レベル		子どもや子育て世代向けの事業を行い、利用促進に努めた。 新たに夏休み期間の「放課後子ども教室」で図書館ツアー等を実施し、子どもが図書館に親しむきっかけ作りに取り組んだ。 各年齢層を対象として資料展示やSNS等での資料紹介を行った。 様々なテーマで行う資料展示は利用者に好評である。			
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	－	③限定的		定期的な受入と除籍により、資料の鮮度維持に努めたが、入館者数の増には繋がられなかった。			
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	－	③限定的		行政資料や、「二宮ゆかりの人物」に関する資料の収集を行い、図書館だより等でのゆかりの人物紹介を行ったが、直接入館者数の増に寄与できたとは言えない。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名		図書館年間入館者数						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画		174,944人	174,944人				175,000人	B
	実績			138,123人					
指標の見直し		－							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名		読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）						
			基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	小学校	70.2%	70.2%				75.0%	A
		中学校	63.9%	63.9%				70.0%	
	実績	小学校		72.8%					
		中学校		65.7%					
指標の見直し									

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努めた。新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。</u>	
	今後の課題	<u>幅広い年齢層の図書館利用促進に継続して取り組む必要があるが、小学校高学年や、成人を対象とした講座や講演会を実施することができなかった。</u>	
	改善点及び今後の方向性	<u>既存事業の対象年齢層とは異なる年齢層を対象とした事業を開催するなど、日常的に図書館を利用しない町民や、様々な世代が利用するきっかけ作りに取り組む。</u>	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供					評価者	生涯学習課			
施策内容	各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援するとともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。 また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。									
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明			
	1	文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】		－	②想定レベル		文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術スポーツに触れる機会に繋がられた。			
	2	歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】		－	②想定レベル		民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発に繋がった			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況		
	計画	4,273人	4,273人				4,500人	B		
	実績		4,226人							
	指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況		
	計画	80組	80組				80組	B		
	実績		74組							
	指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況		
	計画	405人	405人				500人	A		
	実績		590人							
	指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況		
	計画	小学校	52.4%	52.4%				55.0%	B	
		中学校	34.0%	34.0%				35.0%		
	実績	小学校		48.3%						
		中学校		23.6%						
	指標の見直し	－								
重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール、温水プール）の個人入場者数および利用登録団体数								
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況		
	計画	210,757人	210,757人				210,000人	評価不可		
		4,894団体	4,894団体				4,800団体			
	実績		137,233人							
			5,005団体							
指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】									

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、スポーツフェスティバルへの協力などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努め、<u>多くの町民の参加や来場に繋がった。</u> ・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組む<u>ことで、町民の歴史・文化に対する理解に繋がった。</u>	
	今後の課題	<u>歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。</u>	
	改善点 及び今後の 方向性	・各種団体と連携、協働、支援や、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。 ・重要業績評価指標（KPI）⑤について、温水プール廃止に伴い、指標を変更する。	
	総合評価		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営				評価者	生涯学習課		
施策内容	長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センターラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。 また、生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明		
	1	安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】		－	②想定レベル	不具合箇所の修繕を適時に行うなど、安全安心な環境整備に努めた。		
	2	生涯学習センターラディアン及び図書館の改修に向けた検討		－	②想定レベル	大規模改修の基本設計を進めた。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）」						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R5達成状況
	計画	0／4	0／4				4／4	B
	実績		0／4					
	指標の見直し	温水プールを令和6年3月31日をもって廃止にすることに伴い、対象施設から温水プールを削除し、指標を変更する。【対象・基準値・目標値見直し】						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	<u>・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだことで、利用者の利便性が保たれた。</u> <u>・D判定4か所のうち、1か所（屋根・屋上）が該当する生涯学習センターラディアンは、施設再編課とともに基本設計を進め、リニューアル工事に向けたコンセプトをまとめることができた。</u> <u>・D判定4か所のうち、3か所（内部仕上げ、電気設備、機械設備）が該当する町民温水プールは、令和5年度末をもって廃止した。</u>	
	今後の課題	<u>・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。</u>	
	改善点 及び今後の 方向性	<u>・不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。</u> <u>・生涯学習センターラディアン及び図書館の改修については、工事に向け実施設計を着実に進める。</u>	
	総合評価		B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和5年度実績）

基本方向性	3－③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化					評価者	生涯学習課		
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。								
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)		説明		
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用		－	③限定的		ホームページやFacebookを活用し、時機を得た情報発信に努めたが、新聞等のメディア掲載には繋がらなかった。		
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況	
	計画	14件	14件				20件	C	
	実績		7件						
	指標の見直し	－							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点 事業の評価】	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、地元情報誌に8回掲載された。また、年度末までに町Facebookに34件投稿した。
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要がある。
	改善点 及び今後の 方向性	記者発表なども活用しながら、積極的な情報発信に継続して取り組む。
	総合評価	

C

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

点検評価全般に関すること							
(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
1			方向性の 提案	●新点検評価の構築と評価コメントの原案作成ありがとうございます。意気込みと謙虚さ（ストイックさ）をおおいに感じることができました。 ●教育委員会の活動はもっと評価されても、あるいは、自己評価を高くつけてもいいと感じています。 ● <u>私たち教育委員を含めた教育委員会が取り組んでいる活動と評価の根拠となることは、もっと具体的に書いた方がいいと感じました。</u> ● <u>抽象的な言葉で漠然と書くと自分たちでも現在の状況と次のアクションが見えなくなってしまう。</u> ● <u>具体的に記載することで評価のポイントを明確にすることができ、次のアクションの具現化にもつながります。</u> ●教育委員もこれらの活動の責任を追っている立場なので、その責務を感じつつ、一緒に考えていく気持ちでコメントさせていただきました。	岡野委員	修正	・具体的な表記に関しては、各施策の中で見直します。
2			方向性の 提案	○ KPI達成への有効性 それぞれの事業は効果があるという目論見があって計画されているので、程度の差はあれ、なんらかの効果はあると思います。それゆえ「有効だった」「有効ではなかった」という文言は、もう少し段階的に記載すべきだと感じました。三段階くらいに分けて「想定以上」、「想定レベル」、「限定的」でもいいと思います。	岡野委員	修正	提案どおり
3			方向性の 提案	①いつ、主体は誰で、誰に意見を求め、何を根拠資料とした数値か（例えば何年度実施の学状とか）、設定した基準値の根拠は何か、第1章総論ページ前段にわかり易く表記されているとよい。 ② <u>成果と今後の課題は、「など」「努める」「充実を図る」といったワードをできるだけ避け、より具体的な表記としたい。努めたり充実を図ったりする場合は、一つでも二つでも具体の取組を表記して、「などに努める」「など充実を図る」と表記する。まとめることが目的でなく、伝えることを目的としたい。このことは来年度に向けたアクションに繋がり易くなる。</u>	古正委員	修正	・指標の設定に関する説明は、総論の前段に表記します。また、来年度の基本方針の中でも説明が加えられるか検討します。 ・具体的な表記に関しては、各施策の中で見直します。
1－① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成							
(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
4	2	KPI	感想	①話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合） ②自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合） 指標の変更は問題ないが、この①、②は、この数値を改善する気持ちが各校長、現場の先生方にもないと数値が向上しない（具体的な方策がわかる、英検3級のようなものと違う）。その気持ちを持ってもらうための先生方への教育委員会からの説明が重要と思う。	藤原委員	修正なし	今後、校長会、担当者会等で説明します。

5	2	指標の見直し	一部修正	「町全体の特徴を反映できるようにするため」の文言は不要だと思います。「町全体の特徴」が何を示しているのかがすぐに理解できませんでした。おそらく「英語教育に力を入れていること」だと想像しますが、もしそうなのであれば「実践的な英語力に重点を置いている二宮町の英語教育の特徴を…」みたいな表現にしてはどうでしょうか。	岡野委員	修正	文言の削除（他のKPIも同様に対応） ・全国学力・学習状況調査では、小学校6年生と中学校3年生と対象学年が絞られるため、年度によって傾向が大幅に変わる可能性がある。そのため、複数学年を対象にし、面で数値をとることで、より町の特徴を捉えることに繋がると考えた。
6	2	成果	一部修正	授業を行うことができるようになっている ↓ 授業を行うことができるようになった	岡野委員	修正	提案どおり
7	2	成果	一部修正	…着実に進んでいる ↓ 着実に進んだ結果、どうなったかを書きませんか。例えば、「…その結果、ICTの利活用率が高まり、子どもたちの理解度を高めることができるようになった」みたいな。	岡野委員	修正	提案どおり
8	2	今後の課題	一部修正	…学校の活用状況を踏まえた… ↓ …学校の実情に合った…	岡野委員	修正	提案どおり
9	2	今後の課題	意味の確認 一部修正	…カリキュラムマネジメントによるアウトプット機会の確保 ↓ ここでいう「アウトプット機会」とはどのような意味でしょうか？「言語活動の成果を確認するために実際にしゃべって会話してみる機会」という意味でしょうか？もしそうなのであれば、そう書いておくのはどうでしょうか。	岡野委員	修正	文言を修正しました。

1－② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

(1)小中一貫教育の推進

No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
10	3	主な関連事業 (説明)	一部修正	○小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】 ○かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施 ○施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】 ○郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】 「…研究を深めることができた。」の文面は、その結果、どうなったかを書きませんか？例えば「…研究を深めることができた。その結果、カリキュラムの連続性を確保するためのポイントを絞り込むことができた。」みたいな。 同じ枠内に書かれている「…取り組むことができた。」「…議論を進めることができた。」「…郷土学習を進めることができた。」も同様。	岡野委員	修正	ご提案の趣旨を踏まえて修正しました。
11	3	KPI	感想	①国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） ②算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） ③学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） KPIは③が①、②より大事ではないか	藤原委員	修正	ご提案の趣旨を踏まえて順番を変更しました。

12	3	KPI	意味の確認	④地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） ④が大きく乖離している理由はわかっているか	藤原委員		令和４年度の実績を基準値に設定しているが、令和５年度以降、新型コロナによる活動の制限がなくなり、外に出て活動する機会が増えているため、地域や社会での活動に関心が高まっていると考えます。 （その他の参考数値：学力学習調査より 地域の行事に参加している肯定的な割合 R４小学校 52.4%・R5 68.6%、R4中学校34.0%・R5 48.3%）
13	3	KPI	意味の確認	⑤小中一貫教育の認知度 ⑤はどのように測定しているのか、数字は保護者？町民？	藤原委員		「二宮町総合戦略」に係るアンケート調査の結果より反映しているもの 対象者：1,000 名 ※住民基本台帳から、満 18 歳以上の男女各世代（10 代・20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上）より、年代ごとに均等な人数となるよう 1,000 名を無作為抽出
14	4	今後の課題	一部修正	「引き続き…必要がある」の一文は不要。 「…地域とのかかわりを深めていけるとよい」の部分は、それがいいのはわかっていることなので、そのために何をするのかを書いておくのはどうかしら。「…地域とのかかわりを深めるために〇〇〇が必要である」みたいな書き方にしませんか？	岡野委員	修正	ご提案の趣旨を踏まえて修正しました。
15	4	今後の方向性	一部修正	「…事業の進め方について検討する。」 ↓ 「…事業の進め方と次のアクションを具現化する。」 ◆この項目は小中一貫教育を進めるためにひととき重要であると感じます。次のアクションが具体化できていないことが、小中一貫教育を実現するためのアクションが停滞している最大の原因であるように感じます。	岡野委員	修正	ご提案の趣旨を踏まえて修正しました。
(2)コミュニティ・スクール運営の促進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応
16	5	KPI達成への有効性	一部修正	○コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進 「有効とは言えない」 ↓ 「効果は限定的」	岡野委員	修正	提案どおり
17	5	KPI	意味の確認	②コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度 ②はどう測定しているのか	藤原委員		「二宮町総合戦略」に係るアンケート調査の結果より反映しているもの 対象者：1,000 名 ※住民基本台帳から、満 18 歳以上の男女各世代（10 代・20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上）より、年代ごとに均等な人数となるよう 1,000 名を無作為抽出

18	5、15	KPI	意味の確認	コミュニティ・スクールの認知度の項目が将来に向けた特色ある学校づくりの推進のページにあって生涯学習の振興のページにもあるのは、これでよいのか。「よい」としたら、その理由がどこかに表記されていないと、単なる重複と思う人は少なくないと思う。	古正委員		・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）と学校を核とした地域づくり（地域学校協働活動）は、連携して取り組みを進めることが重要であることから、同じ指標を設定し、進捗を図っている。 ・点検評価の中では、スペースが限られているため、関連性を記載するのが難しいため、教育委員会方針等で記載ができるか検討する。
19	5	成果	一部修正	「新型コロナ…」の一文は不要	岡野委員	修正	提案どおり
20	5	今後の課題	一部修正	文章が長いので、「…温度差がある。そのため…」の位置で区切りませんか？	岡野委員	修正	提案どおり
21	5	総合評価	意味の確認	総合評価をAにしたいわけではないが、KPIが2つともAなら、普通自動的に総合評価はAと思う。①が実績がまだ出ておらず、見立てとしてBだから総合はBというのなら理解	藤原委員	修正しない	見立てとしてBのため総合もB。

1－③ 学校教育に関する情報発信の強化

(1) 情報発信の強化

No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
22	6	成果	一部修正	文章が長いので、「…アクセス数があった。令和4年度は…」で区切りませんか？	岡野委員	修正	提案どおり
23	6	KPI	意味の確認	②学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（5校平均値） ②の目標値はいつか？	藤原委員		目標値 95% (項目が抜けていたため追加)

2－① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実

No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
24	7	施策内容	参考 (該当箇所以外の意見)	「誰もが安心して…充実を図ります」は、スムーズに読むことができます。とてもいいと思います。	岡野委員		
25	7	KPI	感想	④不登校率 ④は小学校低学年が未達だからCか、Bで良いのでは	藤原委員	修正しない	不登校率を修正しました。評価はCのままとします。
26	8	成果	感想	「…できた」という文末の文章群はとても分かりやすいと感じました。	岡野委員		

27	8	今後の方向性	感想	・校内教育…、・心理検査…、・アンケート…、・幼保小連携… の文章群は端的に書かれていてとても分かりやすいと感じました。	岡野委員		
28	8	今後の方向性	一部修正	対策が「校内教育支援センター拡充」に絞られるのに違和感がある。すでに設置されているところは有意さを持って不登校が少ないのか？不登校の理由がさまざまであり、解決策も常に探索する必要があるのではないか	藤原委員	修正	校内教育支援センターの拡充に限定した書きぶりには違和感があったため修正しました。
(2)教職員の働き方改革の推進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
29	9	施策内容	参考 (該当箇所以外の意見)	文章が長いので、「…進める。教職員が…」で区切りませんか？	岡野委員	対応しない	令和7年度教育委員会基本方針作成時に検討する。
30	9	KPI	意味の確認	②教職員に占める高ストレス者の割合 ②はなぜB？	藤原委員		基準値より低下しているが、目標値の10%までには至っていないため「B」とした。
31	9	成果	感想	5つの文章群は、やったことが端的かつ具体的に書かれていて、とてもわかりやすいと感じました。	岡野委員		
32	9	成果	意味の確認	地域を巻き込む二中の寺子屋的なことは広がっていかないものか	藤原委員		コロナ禍には、放課後の学習支援や居場所づくりの一環として実施している学校はあったが、今現在は行っていない。
33	9	今後の課題	一部修正	「…整える必要がある。」の文面は「…優先順位を見直す。」という表現にしませんか？	岡野委員	修正	提案どおり
34	10	今後の方向性	一部修正	「…しっかりと取り組む」 ↓ 「…取り組む」（意気込みを表す形容詞は不要）。どうしてもその意気込みを書くのであれば、「…重点課題をもれなく取り組む」みたいな文言はどうかしら。	岡野委員	修正	提案どおり
35	10	今後の方向性	一部修正	「…見える化を図る。また、学校だよりやHP、…」の文面は、「また」という接続詞を挟んで二つの文章が並列に書かれていますが、前半部分が目的、後半部分が方策の関係になっているため、「…見える化を図る。そのために、学校だよりやHP、広報紙などの…」とした方がいいと思いました。	岡野委員	修正	提案どおり
(3)教職員の指導力の向上							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
36	11	施策内容	参考 (該当箇所以外の意見)	「…充実を図る。教育にかかわる…」で区切りませんか？	岡野委員	対応しない	令和7年度教育委員会基本方針作成時に検討する。
37	11	KPI	意味の確認	KPIが他の前述とかぶっているものが多いのは気にはなる（解決策があるわけではないが①にあげるものだけでも特徴的にする（他の①とは被らせない）、という配慮はあっても良いのでは）	藤原委員	対応しない	令和6年度教育委員会基本方針の中で見直し、町独自のアンケートで「学習の内容がよくわかりますか」と聞いている項目があるため、変更しました。

38	12	成果	一部修正	「…実施することができことはよかった。」 ↓ 「実施することができた」	岡野委員	修正	提案どおり
39	12	成果	一部修正	「先生の子どもたちへの温かい……伝わっていることはよい。…好印象を与えている。」 ↓ 気持ちはわかりますけど、ここは、成果の確認と次年度への予算獲得の場でもありますので、感覚的な形容詞や感情表現は、もう少し客観的な言葉にできませんか？あるいは、その結果、子どもたちがどんな反応をしたのかを加筆できませんか。例えば、「学校が楽しい」、「授業が楽しい」、「安心できる」の肯定回答率があがった…みたいな。	岡野委員	修正	ご提案の趣旨を踏まえて修正しました。
2－② 安全・安心な学校づくりの推進							
(1)健康・安全教育の充実							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
40	14	成果	一部修正	「・学校給食において、地場産デーとして、…マーボ豆腐を提供した。」の文面だけ読むと、何の苦勞もせずに実施したようにも読めてしまいます。実際には幾度となく現地に足を運び、交渉を重ねてようやく実現したことだと思いますので、「マーボ豆腐を提供した。また、そこに至る過程で、提供者との綿密な交渉（相談）を重ねることにより、安定的かつ高品質な地場素材の供給体制を構築することができた。」の文面を追記しませんか。	岡野委員	一部修正	『安定的かつ高品質な』ではなく、『市場と同等の大きさ・品質・価格』に修正する。
41	14	KPI 成果	一部修正	給食の取り組みはとても良いが、身体的な測定・数値があっても良いのでは	藤原委員	対応しない	身体計測の数値は、昼の給食だけでなく、朝夜の食事や家庭環境にも影響を受けるため。
3－① 生涯学習の振興							
(1)社会教育事業の推進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
42	15	成果	一部修正	「……努めた。…実施した。」の文面は、その結果、何ができるようになったのか、あるいは、今年、ひときわ苦心したところがあれば、それを書き加えませんか？例えば、「…地域のなり手が少ないため、重要度の高いと判断した活動の優先度を高めて地域活動の質を保つようにした。」みたいな。	岡野委員	修正	
43	5、15	KPI	意味の確認	※再景※ コミュニティ・スクールの認知度の項目が将来に向けた特色ある学校づくりの推進のページにあって生涯学習の振興のページにもあるのは、これでよいのか。「よい」としたら、その理由がどこかに表記されていないと、単なる重複と思う人は少なくないと思う。	古正委員		・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）と学校を核とした地域づくり（地域学校協働活動）は、連携して取り組みを進めることが重要であることから、同じ指標を設定し、進捗を図っている。 ・点検評価の中では、スペースが限られているため、関連性を記載するのが難しいため、教育委員会方針等で記載ができるか検討する。

(2)図書館事業の推進							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
44	16	施策内容	参考 (該当箇所以外 の意見)	赤ちゃんから… ↓ 年少者から	岡野委員	対応しない	令和7年度教育委員方針作成時に検討する。
45	16	KPI達成への有 効性	一部修正	○ 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり 「有効とは言えない」の文面は、何かしらの効果はあるともくろんで予算化して取り組んでいることでもある ので「効果は限定的」みたいな表現にしませんか？	岡野委員	修正	評価を修正。説明はそのままとした。 既存の利用者からの評価が下がっているわけではない が、KPIに繋がる効果には至っていない。
46	17	今後の課題	一部修正	「引き続き」は不要 文末「…講演会の実施がない。」 ↓ 「…実施することができなかった。」	岡野委員	修正	
(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
47	19	成果	一部修正	「…スポーツに触れる機会の提供に努めた。」の部分は、その結果どうなったかを追記しませんか？ 例え ば、〇〇〇大会の参加者が増えたとか、アンケートの肯定回答率が上がったとか。 それに続く文面の末尾「…普及啓発に取り組んだ。」も同様。その結果、どうなったかを書きませんか。	岡野委員	修正	
3－② 社会教育施設の管理運営							
(1)各施設の適切な維持管理と運営							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
48	20	成果	一部修正	「…環境整備に取り組んだ。」の部分は、その結果どうなったかを追記しませんか？ それに続く文面の末尾「…基本計画を進めた。」も同様。例えば、「施設再編を次ステップに進める課 題を抽出できた。」とか「施設再編の次ステップを計画立案することができた。」みたいな、先を見据えた 書き方にしませんか。	岡野委員	修正	
3－③ 社会教育に関する情報発信の強化							
(1)情報発信の強化							
No.	ページ数 (修正前)	対象項目	意見区分	内容	意見者	対応	対応に対する補足説明 等
49	21	KPI達成への有 効性	一部修正	○ 二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用 「有効とは言えない」の文面は、もう少し的確な表現にしませんか。メディア掲載につながらなかったのは、 積極的な活用ができていないからではなく、メディア掲載につながる認知度アップやロビー活動が足りな かったためかも知れません。「有効とは言えない」は、「効果は限定的」という文言にしませんか？	岡野委員	修正	

教育相談および教育支援室の状況

～令和6年度の取り組みと計画～

1. 教育相談

①不登校への早期対応の強化

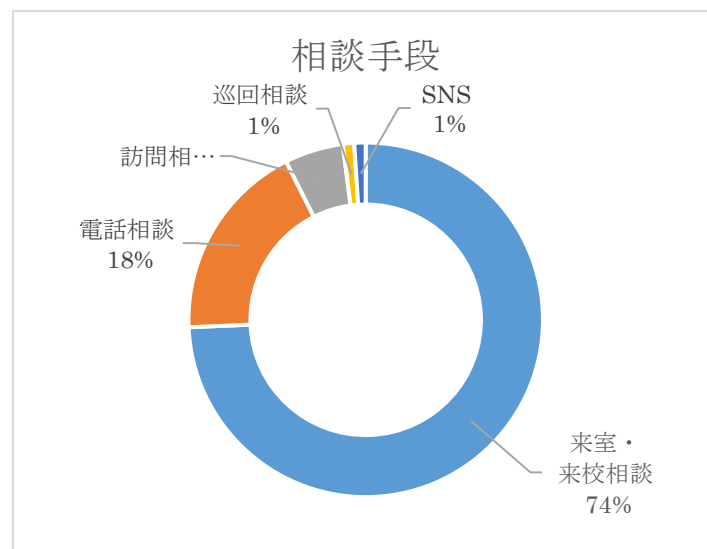
長期欠席に繋がりそうな児童生徒への早期対応として、各学校と連携を取りながらその方策を考えたり、学校を訪問したりする中で教育相談コーディネーターや学級担任、その他の学校関係者との情報交換を密にし、チーム支援の構築を念頭に置いた支援策を探る。また長期欠席者報告や各校からの情報により SSW や SC 等と連携し、その都度対策を講じるよう努める。

教育相談ニーズの高まりを受け、昨年度よりスクールカウンセラーが各学校に週1日常駐する体制を整えた（二宮中は週2日）。各校からは、これまで以上に教育相談コーディネーターや学級担任と連携しやすくなり、早期発見・早期対応につながっていると報告を受けている。

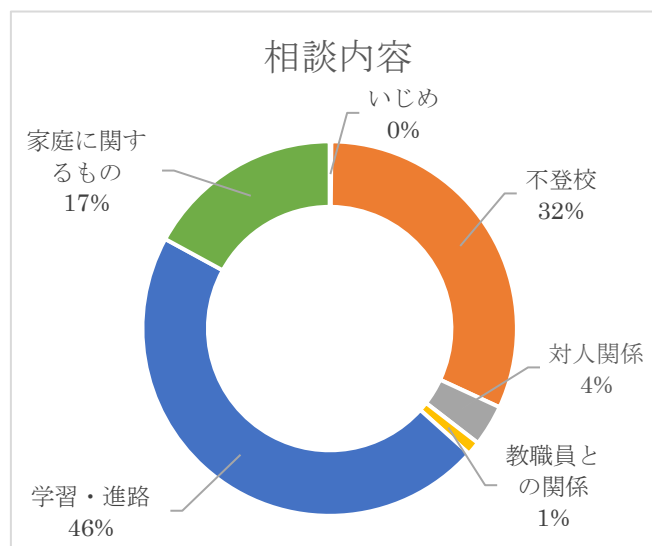
- ・SC との連携・・・子どもの心理面の問題に対して専門的な立場から指導、助言を受けて、効果的な対策を見出していく。
- ・SSW との連携・・・課題を抱える児童生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行ったりして、早期解決を図っていく。

②SSW・心理教育相談員への相談件数

＊相談種別の状況（令和6年4月～7月）



＊相談内容別の状況（令和6年4月～7月）



	来室・ 来校	電話	訪問	巡回	SNS	合計	前年度差
いじめ	1	0	0	0	0	1	-7
不登校	126	71	10	0	7	214	34
対人関係	20	0	4	0	0	24	10
教職員との関係	8	0	0	0	0	8	-6
学業・進路	268	33	4	7	0	312	233
家庭に関する	78	19	18	0	0	115	24
合計	501	123	36	7	7	674	288
前年度差	200	92	-13	2	7	288	

2. 教育支援室

① 不登校への早期発見・早期対応

- ・不登校や不登校傾向にある児童生徒の情報を長期欠席者報告書や学校への電話等で確認し、必要に応じて保護者面談、家庭訪問を行う。
- ・やまびこ校外学習体験会などを通して、保護者や子どもたちにやまびこの存在や活動内容について知っていただく機会を設ける。

② 通室生への指導の充実

- ・個別支援から小集団活動、諸行事での体験活動等を通し、集団生活への適応力の向上を図る。
- ・通室する児童生徒一人ひとりの個性を尊重し、安心して諸活動に取り組めるよう、通室生同士の温かい人間関係の構築やその環境づくりに努める。
- ・児童生徒一人ひとりに応じた弾力的なカリキュラムを取り入れ、活動意欲の向上を図る。
- ・面談等を通して児童生徒一人ひとりの抱えている悩みに寄り添い、主体的に自身の課題に取り組めるよう、段階的な自立に向けての支援を行う。
- ・家庭、在籍校、専門機関との連携を密にしながら、社会復帰に向けて丁寧な支援を行う。
- ・学校復帰した際スムーズに授業が受けられるよう、教科書やワークを用いた基礎学力の補充を行う。
- ・学習への抵抗感を軽減するため、オンライン授業などICTを活用した学習支援を行う。

③ 保護者との連携

- ・保護者との面談等を継続し、不安等を抱えている気持ちに寄り添いながら、子どもの自立性・自主性を高められるよう家庭との連携を大事にする。
- ・送迎時や電話連絡等で、日頃から子どもの様子について情報共有することで、保護者との信頼関係の構築を図る。

④ スタッフ会議の充実

- ・月に1回（必要に応じて随時）スタッフ会議を設定し、個々の児童・生徒の指導の重点項目を定め、それぞれの立場から見とった児童・生徒の様子について情報を共有し、その後の指導・支援に役立てる。
- ・各学校の不登校状況等を共有し、早期対応に向けての支援策を検討する。

⑤ 学校や他機関との連携

- ・各学校の行事やそれに関連した活動に、無理のない範囲で参加できるよう支援する。（遠足、修学旅行、体育祭、運動会、身体計測、健康診断、定期試験、文化祭等）
- ・学校（教育相談コーディネーター・学年主任・担任等）との連携を密にすることにより、通室

生と保護者の不安感を和らげる。

- ・必要に応じて行政と連携し、支援策を検討する。
- ・フリースクールや民間の居場所づくりを行っている方々と連携し、児童・生徒、保護者への指導の充実を図る。

⑥ 令和6年度 二宮町教育支援室「やまびこ」 年間活動計画 (令和6年4月1日現在)

月	教育支援室の活動予定	学校との連携	保護者との連携
4	○野菜栽培 ○校外学習（吾妻山）	○各種会議で挨拶 ○各種健康診断参加指導	○入室面談（通年）
5	○足柄ふれあいの村デイキャンプ（27日） ○校外学習（図書館） ○畑作業	○修学旅行参加指導 ○体育祭、運動会参加指導	
6	○校外学習（自然塾） ○調理実習	○修学旅行参加指導 ○期末テストへの参加指導	
7	○校外学習（星槎学園） ○大磯町教育支援室と交流（中止） ○お楽しみ会 ○野菜収穫 ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○終業式への参加指導	○個別面談
8	○2学期の準備通室（夏季休業中5日間）		
9	○校外学習（町立体育館・図書館） ○調理実習	○始業式への参加指導	
10	○足柄ふれあいの村キャンプ（21日～22日） ○植物栽培	○文化祭への参加指導 ○運動会への参加指導	
11	○大磯町教育支援室との交流会（自然塾） ○調理実習	○期末テストへの参加指導	
12	○校外学習（星槎学園） ○調理実習（クリスマス会） ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○終業式への参加指導	○個別面談
1	○校外学習（図書館・吾妻山） ○調理実習 ○書初め	○始業式への参加指導 ○学年末テストへの参加指導 ○卒業アルバム文集への参加指導	
2	○校外学習（星槎学園・お別れ遠足） ○調理実習	○学年末テストへの参加指導	
3	○校外学習（自然塾・町立体育館） ○調理実習（卒業・進級パーティ） ○大掃除	○やまびこ連絡会 ○卒業式・修了式への参加指導	○個別面談

- ・感染症の感染状況により、変更となる場合もある。
- ・児童・生徒の通室状況によって随時計画を変更する。
- ・学校との連携では必要に応じて随時、学校訪問や電話連絡を行う。
- ・「やまびこ連絡会」は、通室生・通室に関わる児童・生徒の在籍学校を訪問もしくは電話連絡をし、担当者と話し合う。

二宮町におけるコミュニティ・スクール取組状況と課題

二宮町教育委員会

二宮町では、コミュニティ・スクールを平成 30 年度に、一色小学校で先行導入し、平成 31 年度からは二宮小学校・山西小学校・二宮中学校・二宮西中学校の 4 校で導入し、町内すべての小中学校がコミュニティ・スクールになった。

また、令和 5 年 4 月からは、町内の公立小中学校が施設分離型小中一貫教育校として「にのみや学園」がスタートした。

○ 各校の取組状況 【年間 各校 4 回開催（部会、イベント等は随時）】

新型コロナウイルス感染症が令和 5 年 5 月 8 日より 5 類感染症に移行してから 1 年が経ち、各校の運営協議会の活動についても活発になってきている。各校の取組状況は以下のとおり。

◆ 二宮小学校【令和 6 年度予定 ①：5 月 31 日、②：9 月中旬、③：11 月下旬、④：2 月上旬】

- ・創立 150 周年事業を学校 PTA と連携して盛大に行うことが出来た。
- ・放課後子ども教室は、地域のサポーターの皆様に十分にご協力を得ることが出来ており、感謝している。今後は、他の学校を含めた活動に広げていきたい。
- ・放課後子ども教室での児童への質問コーナーを今年度も引き続き行う。

◆ 一色小学校【令和 6 年度予定 ①：4 月 30 日、②：8 月 28 日、③：12 月 2 日、④：3 月 4 日】

- ・9 月に、第 3 回の一色スマイルアート展を開催する。学校だけでなく、地域の方の作品発表の場でもある。二宮高校からも作品をいただいている。昨年度は、二宮中、二宮西中からスタンドグラスをお借りして、子ども達から人気のイベントになっている。
- ・メンバーもそれぞれ都合があるので同じようには出来ないが、目標をみんなで共有しながら、それぞれが当事者意識を持ってやっていくことが必要だと感じている。

◆ 山西小学校【令和 6 年度予定 ①：5 月 17 日、②：8 月 23 日、③：12 月 11 日、④：2 月 28 日】

- ・広報活動について、学校ホームページや学校だよりを作成しているが、学級担任が作成する学級だよりのなかで学校ホームページの QR コードを載せるなどして、地域の方々にも学校活動を垣間見ていただけるようにしている。

◆ 二宮中学校【令和 6 年度予定 ①：4 月 23 日、②：9 月 10 日、③：11 月 18 日、④：2 月 25 日】

- ・1：学習支援部会・2：学校環境整備部会・3：地域活動部会の 3 部会を設置している。
- ・学校運営協議会会長等情報交換会で小学校のボランティア情報をいただき、そこからヒントを得て、部会については、バージョンアップ出来ている。
- ・小中交流の面でも、夏休み放課後子ども教室へ中学生が講師として参加する等発展させることができた。

◆ 二宮西中学校【令和 6 年度予定 ①：5 月 16 日、②：7 月 11 日、③：12 月 11 日、④：3 月 4 日】

- ・「西中@夏祭り」を11月9日（土）、予備日を10日（日）として計画している。

→内容は、生徒によるダンス・歌などの出し物、食べ物の露店、お神輿の体験、キャンプファイヤーの予定。

○ 行政における取組状況

- ・令和5年度に3回、学校運営協議会の代表者、地域学校協働活動推進員、学校長を一同に会した情報交換会を開催している。令和6年度も同様の予定。

- ・情報交換会については、令和5年度より小中一貫にのみや学園の学校運営協議会としての情報共有の場としていくこととしており、他校の学校運営協議会へオブザーバーとしての参加についても可能となっている。

○ 課題

- ・学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の認知が広がっていない。そのために人材募集に苦労している。

令和6年9月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和6年9月27日（木）9時30分から
- 2 場 所 町民センター 3Bクラブ室
- 3 付議事項
- 4 報告・協議事項

※主な行事

- | | | | |
|-----------|--------|--------------|------|
| 9月27日（木） | 9時30分 | 教育委員会議定例会 | 給食試食 |
| | 13時30分 | 学校訪問（二宮中学校） | |
| 10月25日（金） | 9時30分 | 教育委員会議定例会 | 給食試食 |
| | 13時30分 | 学校訪問（二宮西中学校） | |

■学校訪問（9月27日 二宮中学校）について

当日の議論を深めるため、事前に質問事項を集約します。以下の期日までに、ご報告をお願いします。

- ・ 報告方法 任意様式（メール本文への入力でも可）
教育指導課にメールで提出
(ninomiya-shidou@town.ninomiya.kanagawa.jp)
- ・ 報告期日 令和6年9月13日（金）
- ・ その他 集約した質問は、当日の学校からの説明または懇談の中で取り扱っていく予定です。（時間の都合により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

